

◎「ウクライナ支援」 News Letter (13) 2023年2月14日

ミッション・宣教の声 黒田 禎一郎

愛する主にある
皆様へ

主イエス・キリストの御名を崇めます。

News Letter (12)でお伝えしましたウクライナで宣教中に船越宣教師から、次のような報告メールと写真入りました。ここに送りますので、祈り覚えていただければ幸いです。どうぞ、よろしく申し上げます。

愛する皆様へ

この日曜日は、家内と私と一人の兄の三人でヘルソンにある教会を訪問し、奉仕しました。

その教会の牧師夫妻は、11月11日にヘルソンが解放されるまでの8カ月間、ロシア軍によるヘルソン占領下で教会を導き続け、住民たちを支え続けました。証を聞きながら、ただただ驚きの連続でした。ヘルソンは11月11日に解放されてから、逆にそれまでにはなかった街への砲撃が始まり（その教会の敷地内にも三度小型のミサイルが着弾しました。そのうち一回はクラスター弾だったそうです）、皮肉なことに解放されてから、より多くの人々が街を脱出しなければならない状態になっています。

私たちのオデッサ教会で行っている「HOPE オデッサ」（オデッサに避難民として来ている人々への物資の援助）に来られる方々の約半分が、今ヘルソンからの避難民の方々です。早く砲撃が止み、人々が安心して家に帰ることができることを切に願います。現在、ウクライナ東部での戦闘がさらに激化しています。私たちの教会からも4名の兄弟たちが兵役についており、そのうちの一人はドンバスにいます。1日も早く戦争が終息することを心から祈りつつ、この戦時下で主がせよと言われていることをしっかりすることができるように、教会が一致して前進を続けていきたいと願っています。皆様の尊いお祈りに心から感謝しています。

船越真人





船越宣教師夫妻



祈りの課題

1. 戦争が速やかに停止・終息しますように
 2. 日本からの献金と支援が用いられますように。
 3. 船越真人宣教師が主様に守られ、福音が宣べ伝えられますように
 4. きびしい冬季にあっても、生徒の心身が支えられますように。
 5. 教会（集会）指導者の上に神の助けと導きがありますように
- ※ この News Letter は不定期発行で、メール送信しています。